

3. 特筆すべき活動 ((1)・(2) でA4用紙1枚)

(1) 全学の教育研究に関する組織改編等への取組と協力, 特色ある教育GP等の採択状況と取組, 21世紀COE等の採択状況など。

・「産学協同実践的IT教育」(経済産業省)に分担者として提案し採択され、本学工学部学生が産業界指導者による実践的IT教育を他校学生とともに受講する試みを行っているが、受講者及び指導者から有意義であると好評を得て、実施評価も極めて高く、18年度も地域の産官学の連携により継続している。また、仙台電波高専が開講するネットワーク基礎論の講義における実践的教育を本学工学部学生にも受講させるために、仙台圏単位互換ネットワークの適用について企画調整を行い、組織的な受講の実現に導いた。

・総務省戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)に2件採択されている。

(2) その他, 特筆すべき研究・教育・診療・社会貢献等への取組と成果, 世界的位置付け (ISI citation など) など。

・全国共同利用施設として大規模科学計算システムを学内外の研究者に提供し、プログラムの高速化を通して、大規模/高性能シミュレーション技術の社会への還元を行っている。

・全国共同利用情報基盤センター群として、日本の学術コミュニティ全体の研究・教育活動に不可欠な最先端の学術情報基盤の整備・運用・研究・開発を、国立情報学研究所、北海道大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学と連携しながら取り組み、日本の学術コミュニティに対し重要な貢献をしている。

・大学共同利用機関法人情報・システム研究機構との委託契約に基づき、新たにCSI(Cyber Science Infrastructure)研究室を設置し、全国8基盤センター群共同研究プロジェクトとして、次世代学術情報基盤に関する研究開発プロジェクト(CSIプロジェクト)を開始している。

・電子情報通信学会の「ネットワーク運用ガイドライン検討ワーキンググループ」において策定した高等教育機関向けのセキュリティポリシー等の雛形と解説の作成をさらに発展させ、国立情報学研究所および主要大学の連携による「国立大学法人等における情報セキュリティポリシー策定作業部会」と合同で策定を充実・発展させ全国の国公立大学に提供しようとする活動において、両会議の主査を務めて、中心的に推進している。

・「情報通信研究機構東北リサーチセンター」とともに、情報通信技術分野における(地域の産官学と連携した)地域貢献活動を研究開発と並行して推進し、同機構の外部評価で高く評価されている。

・中学生のためのコンピュータ・グラフィクス講座を開講し、社会貢献に取り組んでいる。